

たてものがたりフェスタ 2017 開催報告

(アーキウォーク広島 主催イベントの報告)



2017年12月 アーキウォーク広島

1. 開催概要

■イベント名称	たてものがたりフェスタ 2017				
■主催者	アーキウォーク広島 (たてフェスは複数の主体が行うイベントの集合体だが、この報告書ではアーキウォーク広島が主催する部分について扱う)				
■日程・会場	2017年11月10~12日 · 広島市内各所				
	(1) 広島牛田教会・あやめ幼稚園				
	11月11日(土) 10:30~11:30 定員20名 参加費300円				
	(2) 平和記念公園・原爆ドーム				
	11月11日(土) 13:30~14:30 定員30名 参加費500円				
	(3) いしうちの森				
	11月11日(土) 13:30~14:30 定員12名 参加費400円				
	(4) 本通り界隈の建築めぐり				
	11月11日(土) 15:30~16:30 定員10名 参加費400円				
	(5) 広島市江波山気象館				
	11月11日(土) 15:30~16:30 定員15名 参加費300円				
	(入館料100円が別途必要)				
	(6) 不動院				
	11月12日(日) 10:00~11:30 定員30名 参加費600円				
	(7) 世界平和記念聖堂				
	11月12日(日) 13:30~14:30 定員20名 参加費500円				
	(8) イエズス会 長束修道院				
	11月12日(日) 13:30~14:30 定員20名 参加費400円				
	(9) おりづるタワー				
	11月12日(日) 15:30~17:00 定員15名 参加費300円				
	(入館料1700円が別途必要)				

■タイムテーブル (青色がアーキウォーク広島主催部分)

11月10日			10:30-11:30 広島市現代美術館	10:30-11:30 県立美術館	10:30-11:30 広島通信病院	10:30-11:30 御幸松広場トイレ 旧みなと公園トイレ	[通常開館] レストハウス 新白島駅 ひろしま美術館 旧日銀広島支店 西消防署 郷土資料館 水道資料館 環境局中工場 袋町小学校 本川小学校 マツダスタジアム	
11月11日	10:30-11:30 牛田教会	10:00-12:00 基町高層アパート	10:30-11:30 広島県庁舎	10:30-11:30 県立広島大図書館	10:30-11:30 広島城太鼓櫓	10:30-12:30 旧陸軍被服支廠倉庫		
11月12日	13:30-14:30 平和記念公園	13:30-14:30 いしうちの森		13:30-14:30 基町高等学校	13:30-14:30 広島城太鼓櫓	13:30, 14:30, 国立平和祈念館	マツダスタジアム	
	15:30-16:30 本通り界隈	15:30-16:30 江波山気象館		15:30-16:30 山陽文徳殿	15:00-16:00 頬山陽史跡資料館	市営平和アパート		

■参加者数（延べ）

139名

■広報：イベントガイドブック（広島県作成）

ガイドブックは県内各所で配布されたほか、広島県のホームページでのダウンロード配布も行われた。



なお、たてフェスの広島市内集中開催分については、中国新聞に告知記事が掲載された。（11月5日付）

魅力ある建物 一斉に巡ろう

広島で10～12日
まちに愛着深める試み

広島市内の魅力ある建物の見学イベントが10～12日にかけてある。広島県のプロジェクト「たてものがたりフェスタ2017」の一環。ひろしま美術館（中区）など普段公開されている11カ所を含めると計39カ所で、一斉に催される。

建築物を巡るイベントを実施している市民団体「アーキウォーク広島」や県、市などが主催。専門家や施設管理者が解説し、通常は立ち入ることのできないエリアを公開する物件もある。まだ申し込みできるのは、いず



れも12日のおりづるタワー（中区）＝写真左▽広島大付属中・高校講堂（南区）▽不動院（東区）＝同右▽イエス会長東修道院（安佐南区）一など。

建築物の一斉公開「オープンシティー」は欧洲で始まり、まちに愛着を抱き、活気づける試みとして定着しつつある。国内では大阪の「生きた建築ミュージアムフェスティバル（イケフェス）」が最大級。広島のフェスタは3年目だ。アーキウォーク広島の高田真代表は「見慣れた建物のどこにどう価値があるかを知ると、まちへの思いもあらためて深まる」と魅力を語る。

見学会は申し込みが必要で、有料のケースもある。詳細は「ひろしまたてものがたり」の公式サイトや、県内各地の道の駅、観光案内所などで配布するガイドブックで。県営轟課 082（513）2311＝平日午前8時半～午後5時15分。

（増田泉子）

2. 開催状況報告

(1) 広島牛田教会・あやめ幼稚園

11月11日(土) 10:30～11:30

コンクリート打ち放しでユニークな形状の礼拝堂と園舎を見学。施設関係者様と設計者の案内で建物内外をめぐりました。



(2) 平和記念公園・原爆ドーム

11月11日(土) 13:30～14:30

毎年開催している平和記念公園一帯の建物解説。広島の町の成り立ちから話を始め、旧産業奨励館（原爆ドーム）を建築デザインから読み解き、慰靈碑のかたち、資料館に埋め込まれたスケール…など、詳しい解説を織り交ぜながら園内をめぐりました。



(3) いしうちの森

11月11日(土) 13:30～14:30

郊外に位置する農作業を中心とする福祉作業施設で、畑の中で映えるシンプルなモダンデザインが印象的です。普段非公開の建物を設計者の詳しい解説でめぐりました。



(4) 本通り界隈の建築めぐり

11月11日(土) 15:30~16:30

広島の中心である本通り（旧西国街道）周辺の建物めぐり。旧日本銀行広島支店、頬山陽資料館、袋町小学校旧校舎、旧三井銀行広島支店（広島アンデルセン）などの様式建築＆モダニズム建築から中の棚橋跡などの遺跡まで、解説とともにめぐりました。



(5) 広島市江波山気象館

11月11日(土) 15:30~16:30

広島の被爆建物の中でもインテリアが現存する数少ない建築で、表現主義の影響を受けたデザインも特徴です。施設関係者の案内で館内を回りました。途中、当時の設計図面を見ることができました。



(6) 不動院

11月12日(日) 10:00~11:30

広島市内唯一の国宝建築である不動院金堂は、京都や鎌倉の禅宗様建築と肩を並べる名品です。普段は入れないこの貴重な文化財を、藤田盟児先生（奈良女子大学教授）の解説とともに特別に見学しました。



(7) 世界平和記念聖堂

11月12日(日) 13:30~14:30

建築家 村野藤吾による名作建築です。現地ガイドさんの丁寧な解説とともに、各所にちりばめられた村野らしいディテールや世界各地からの支援の証など、普段見られない箇所も含めて見学しました。



(8) イエズス会 長束修道院

11月12日(日) 13:30~14:30

カトリック修道院でありながら近代和風建築という珍しい建物で、現存する貴重な被爆建築の一つでもあります。見学会では神父様にも加わって頂き、建物にまつわるストーリーやデザイン上の特徴などを学びました。



(9) おりづるタワー

11月12日(日) 15:30~17:00

今年リノベーション工事を終えて竣工した施設で、オフィスビルを改修し展望台を載せた全国的に珍しい建物です。施設関係者の解説とともに、通常非公開のフロアを含めて特別に見学し、デザインのプロセスやディテールの工夫を学びました。



なお、アーキウォーク広島は他団体主催イベントへの講師派遣も行っている。今年度は下記4件へ講師を派遣した。



基町高層アパート見学会への講師派遣

(主催: 広島市立大学+広島市)



基町高等学校の見学会への講師派遣

(主催: 広島市)



矢野南小学校の見学会への講師派遣

(主催: 広島市)



平和アパートの見学会への講師派遣

(主催: 広島市)

3. 参加者アンケート

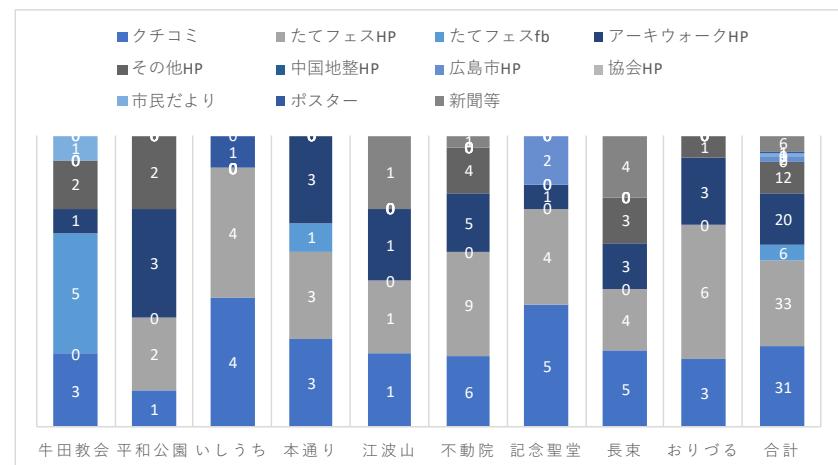
参加者に向けアンケート調査を行った。なお、同一人物が複数イベントに参加した場合それぞれカウントされるため、二重三重にカウントされている可能性がある。

アーキウォーク広島主催イベントでの参加者層は、30~40代がボリュームゾーンで女性が多く、建築士などの専門家は少ない傾向がある。しかし、今回は昨年度と同様に男女半々で、建築関係者がやや多い、50代が多いという傾向が見られた。初参加者とリピーターは半々であった。イベント満足度は総じて高めであったが、見学時間が短いとの意見が複数見られた。

アンケート調査1（参加動機等）

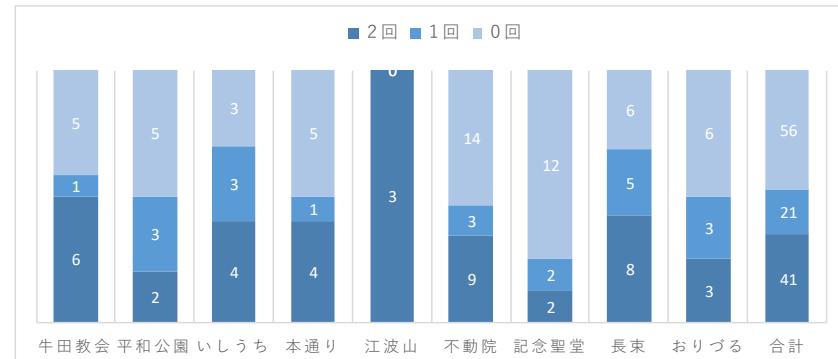
■イベントを知ったきっかけ

たてフェスとしての広報が効果を上げており、アーキウォーク広島の発信力を上回っている実態がうかがえる。



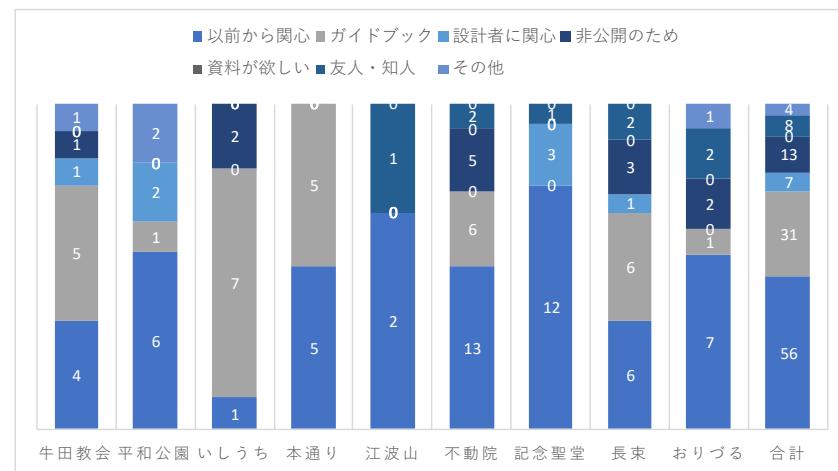
■過去に参加された回数

初参加とリピーターが概ね半々という結果になった。文化財など分かりやすい建物には初参加者が多い傾向がうかがえる。



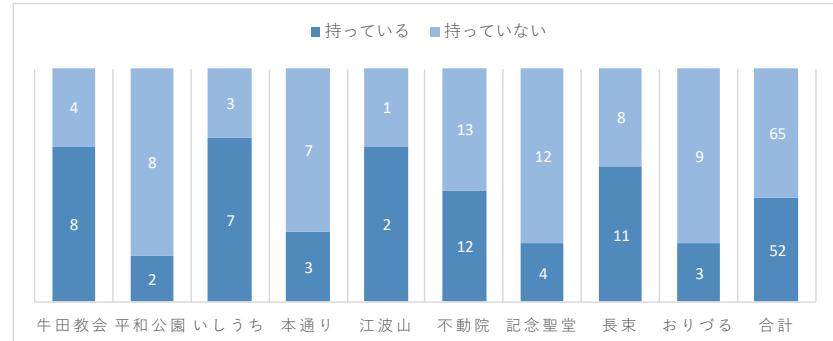
■この建物を選んだ理由

今回の対象には一般に知られていない建物も含まれており、それらでは「ガイドブック」が参加動機として機能している。



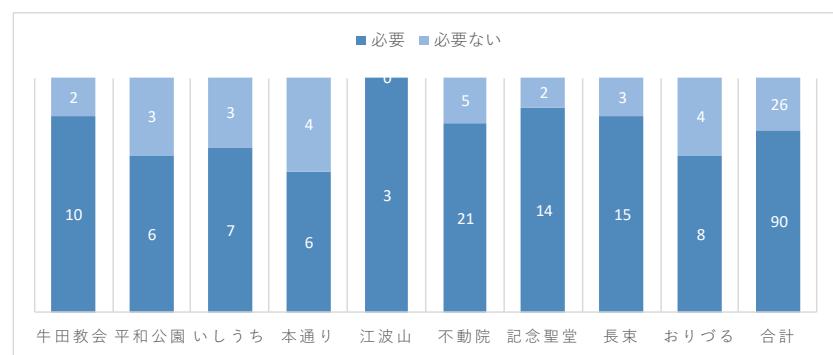
■イベントガイドブックの所持

ガイドブックの所持率は、リピーター率と似た傾向を示している。リピーターがガイドブックを見て、あまり知られていない建物について応募…といったケースがあったものと思われる。



■イベントガイドブックは必要か

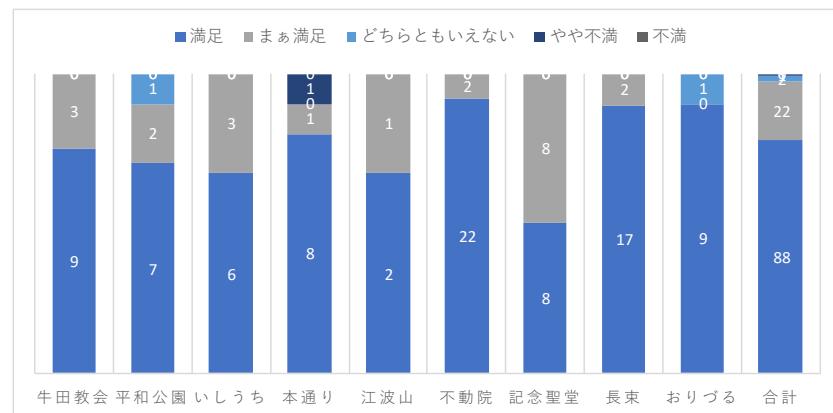
紙のガイドブックは必要との意見が多かった。なお、有料でも必要か質問したところ、有料でも必要という回答は約4割にとどまった。



アンケート調査2（当該見学会の感想）

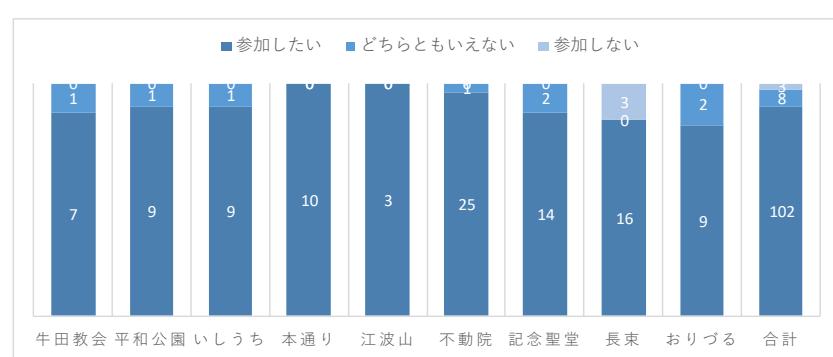
■イベントの満足度

イベントの満足度については例年通り、総じて高い結果となっている。



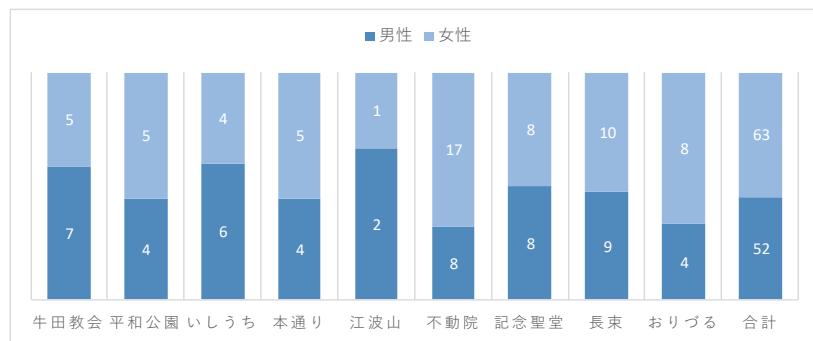
■また参加したいか

満足度と同様に総じて高い結果となっている。



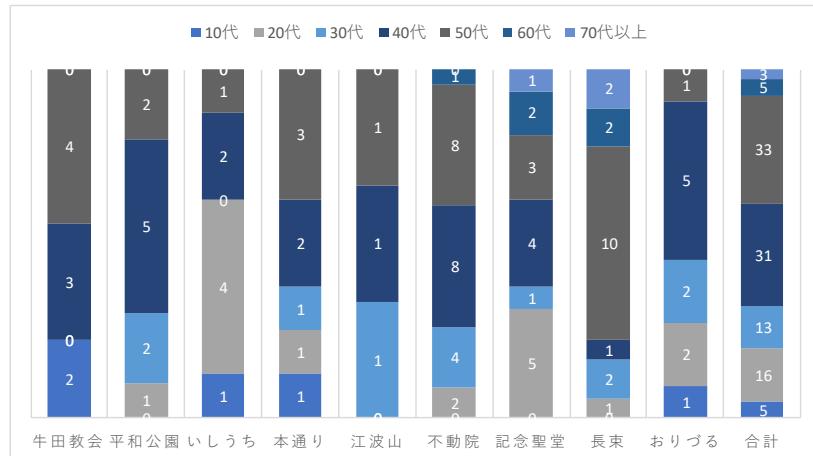
■参加者の性別

過去の実績と同様に、やや女性が多い。



■参加者の年齢層

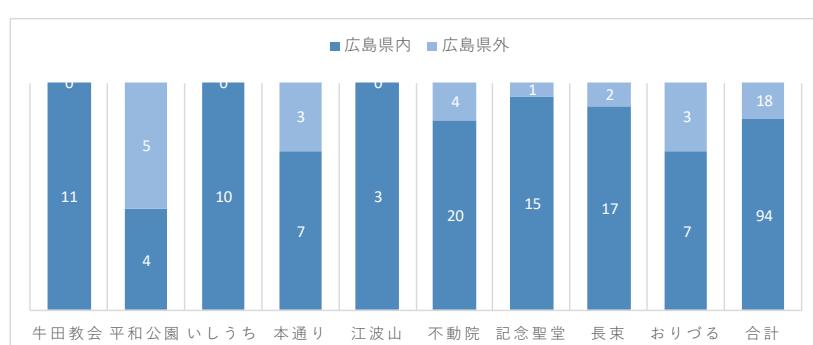
例年と比べると30代が減り50代が増えていく。20~30代への訴求は今後の課題といえる。



■参加者の居住地

ほぼ例年通り。県内で市外（福山、呉、江田島、大竹）などからの参加者が増えている傾向。

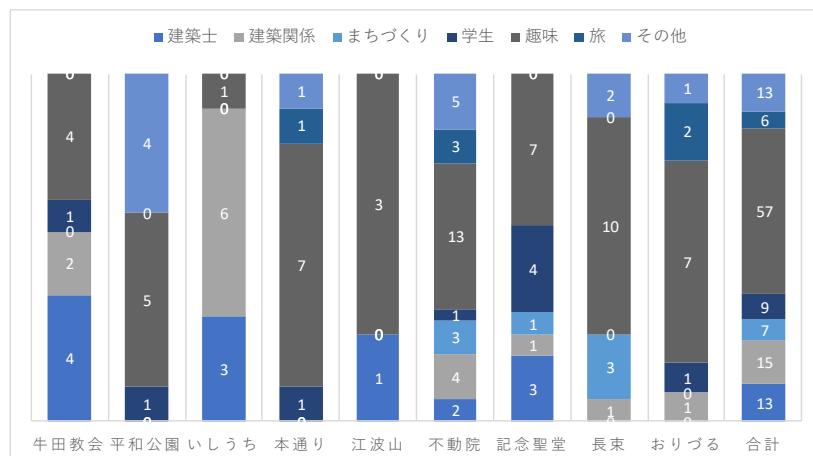
県外は、東京、神奈川、愛知、岡山、愛知、熊本など。



■参加者と建築のかかわり

例年通り「趣味」が最多であるが、建築士などの関係職が若干多くなっている。

別途入館料が必要な「おりづるタワー」で建築関係者が少ないので意外な結果であった。



4. 主催者所感

- 今年度は、昨年度と同様に、広島県が実施する「たてものがたりフェスタ」の一環として実施した。アーキウォーク広島独自の広報用フライヤーは作成せず、広島県作成のイベントガイドブックへの掲載による広報となった。その結果、昨年度と同様に初参加者が多く、参加のきっかけとして「たてフェス」が機能しており、従来より広範囲への周知ができたものと考えられる。
- 今年度も当会を含む複数団体が同日に見学会を行うことで、広島市内 40 か所弱での同時多発的な見学会開催が目指され、厚みのあるイベントとなった。また、昨年度の反省をふまえて各主催者がイベント開催時間を調整した（時間割を作った）ことで、1 日で数か所をめぐることが可能となった。一方で、時間を調整した結果、イベントによっては見学時間を圧縮する必要が生じたものもあり、今後の課題となっている。
- アーキウォーク広島主催イベントは 9 件で定員 172 名に対し、参加者数は 139 名であった。ただしこれは平和記念公園について意図的に過大な定員を設定したことが影響しており、多数のイベントは満員状態となっていることからも、主催者としては手ごたえを感じる応募状況となった。
- アーキウォーク広島主催イベント全体では 2.5 万円程度の赤字となった。（※運営はボランティアであるため人件費はゼロ。支出は印刷費などの実費のみ）